

今回の登場人物



日高 義樹さん
入社4年/レーザー課



津留 康秀さん
入社5年/プレス課



橋本 青さん
入社4年/溶接課



芦刈 隆一さん
入社3年/機械加工課

——どんな仕事をしてる？——

日高さん(以下㊟) 図面通りにレーザー加工機で材料を切り出しています。使用する材料の発注などスケジュール管理が重要となる部署です。

津留さん(以下㊟) レーザー加工された板金を曲げ加工して製品を作ります。プレス課は全工程の中心部分に当たることから、確実に正確な製品を造ることが求められます。

橋本さん(以下㊟) 部品と部品を溶接で合体させて製品にします。「溶接をしてる」と話すと、友人や知人から「女性なのになにがね、珍しいね」なんて言われることも。

芦刈さん(以下㊟) 立型複合加工機やマシニングセンタを使い、オペレーターとして鉄やステンレスなどの素材を削ったり穴を開けたりしています。

——入社後、気付いたこと——

㊟ 携わった仕事が社会の役に



——今後、取組みたいこと——

㊟ 他部署の業務も経験し、会社全体の流れを知りたいですね。

㊟ 今担当している機械以外の知識を深めて、自分のスキルを上げていきたい。上司を追い抜きますよ笑

㊟ 溶接資格で専門級を取ることに。

㊟ 機械加工課にある全ての機械を操作できるように努力を続けていきたいですね。

立っていることを知り、ものづくりができてよかったなあ実感できました。

㊟ 業務でわからないことがあるとき、上司や先輩に聞くと必ず答えが返ってくる。豊富な知識にはびっくり(笑)

㊟ 先輩の指導が丁寧でわかりやすいですね。

㊟ 業務で失敗したとき、皆さんが「次は頑張ろう」と声を掛けてくださると安心します。アドバイスもいただけるし、感謝の気持ちでいっぱいです。



株式会社 クニナリ

佐伯市大字狩生2107
TEL 27-7069 FAX 27-8810
http://www.kuninari.co.jp

■関連会社

株式会社 ヨシダ
株式会社 佐伯銘板
株式会社 サン・ジャパン



◀こちらから動画をご覧いただけます。

小粋なTopics



スタッフのおし
佐伯スポット

道の駅やよい

地元の生産者が育てた野菜や加工品などを販売する「弥生びかいち」をはじめ、「番匠おさかな館」「やよいの湯」が併設されています。メニュー豊富な食事処や子どもが遊べるアスレチック広場も。



今回は あらゆるジャンルの需要に応えるため、最先端の設備を導入して製品を造る

株式会社 クニナリ

——全国からの引合い注文——

用途によって素材は異なります

半導体液晶部品や食品製造機械、医療機器、建築金物、繊維機械部品を製造している会社です。市内3か所の工場では最先端の設備を導入して、お客様からのニーズに応じています。機械加工では日本に数台しかない立形複合機があり、高精度・高効率な加工が可能です。大部分のスタッフが揃う本社と門前工場は総合生産の工場、西浜工場は組立て作業を担います。

——働きやすい職場環境——

スタッフが仕事を通して自己実現を図れるよう職場環境を整えています。例えば、業務に必要な資格の取得推奨、年齢や役職を問わずに話し合える雰囲気などスタッフが「働きやすい」と感じられる場所づくりを大切にしていることです。専門の知識と技術を習得し、業務を深く究められるよう努めています。



——様々なニーズに対応——

最先端設備で
ニーズに応える

が、主に鉄・ステンレス・チタン・銅・真鍮などを使用。スタッフがプログラムを元に切断・曲げ・溶接・仕上げを行い、品質の良い製品に仕上げていきます。その品質が認められ、全国から引合いでの注文が増えてきました。国立競技場や東京都庁に製品を納めたこともあります。